

## 【山県市のまちづくり全般について】

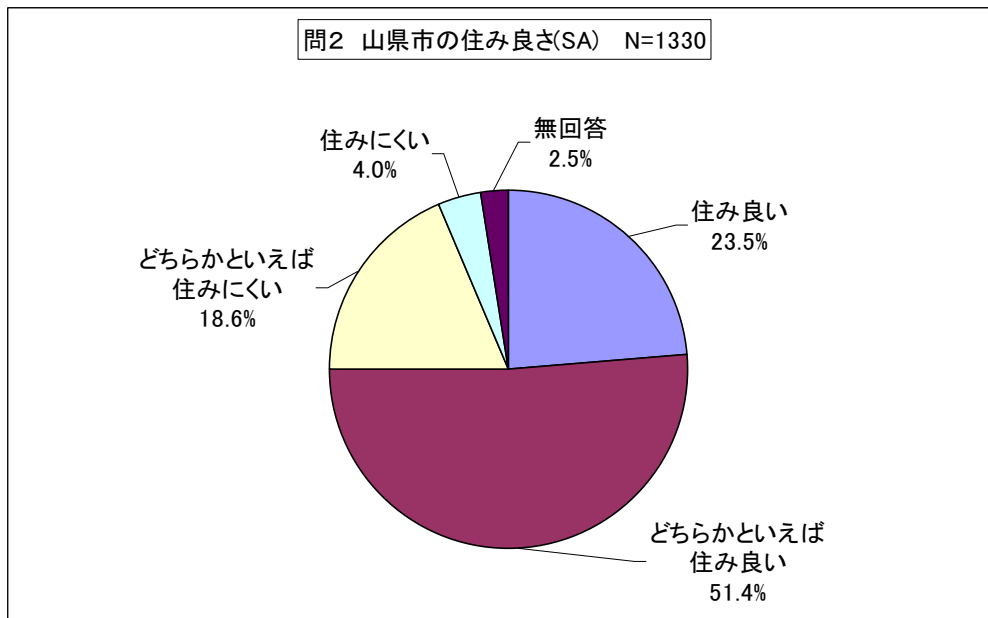
## 問2 山県市の住み良さ

あなたは、現在の山県市の住み良さをどのようにお感じですか。次の中から1つ選んで、番号に○をつけてください。（会社の転勤など、やむを得ない状況がないとしてお答えください。）

○市民の4人に3人は、山県市を“住み良いまち”と感じています。

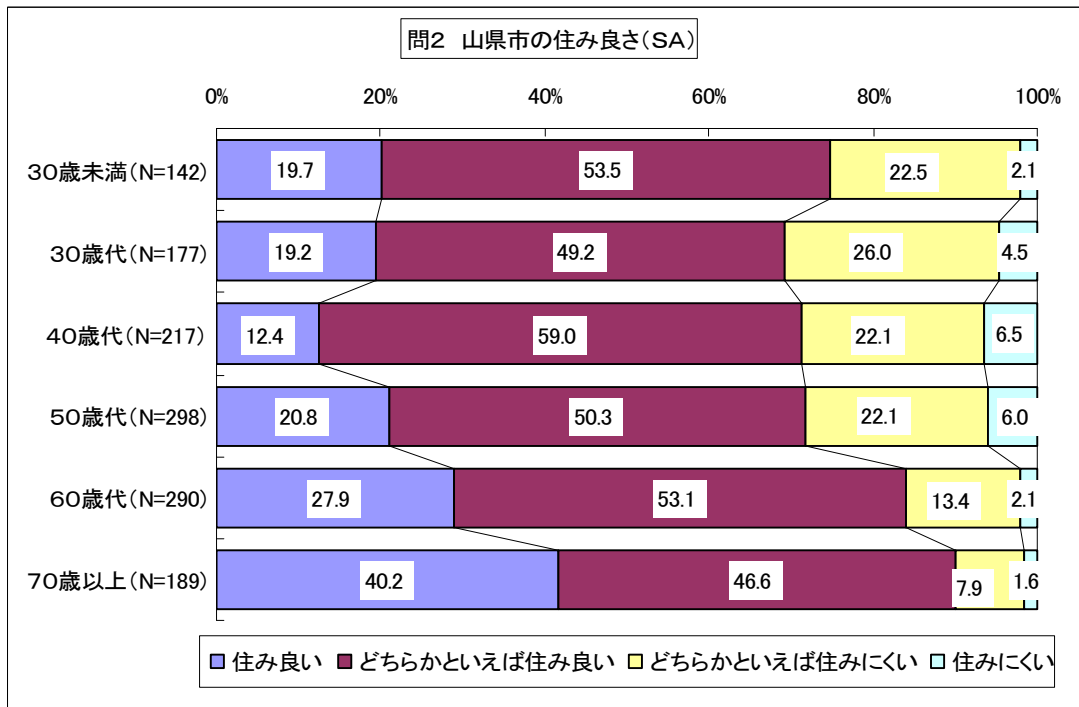
山県市の住み良さでは、「どちらかといえば住み良い」が5割を占め、次いで「住み良い」と続きます。

「どちらかといえば住み良い」と「住み良い」を合わせた“住み良い”は7割を超え、市民の4人に3人は“山県市は住み良い”と感じています。一方、「住みにくい」はほとんどみられません。



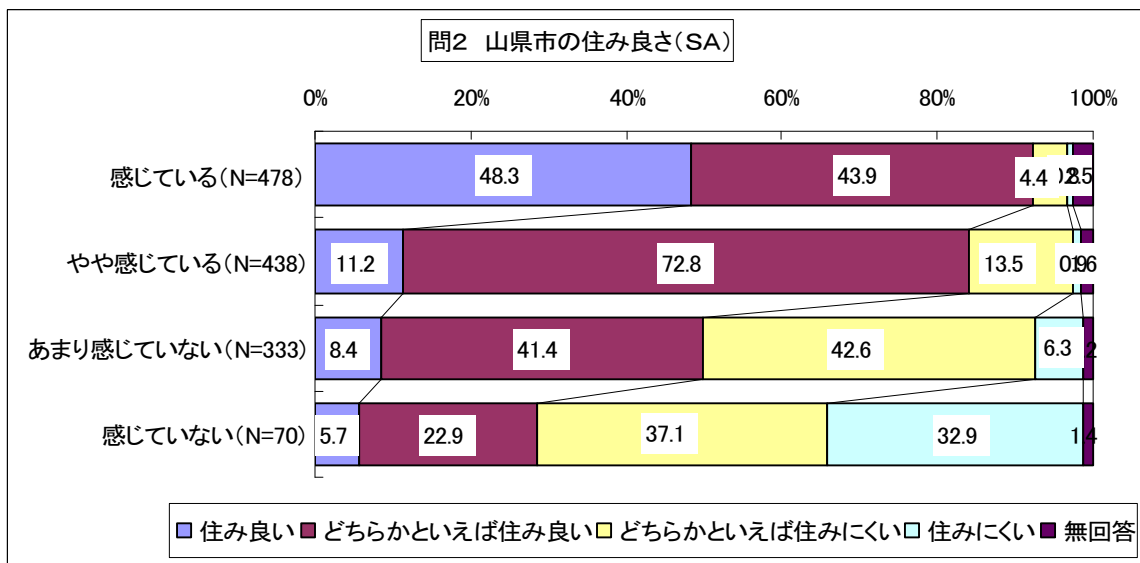
<年齢階層別>

年齢階層が高まるにつれて、住み良さ感が高まる傾向がみられます。「30歳未満」では“住み良い”（「どちらかといえば住み良い」と「住み良い」の合計）は7割ですが、「70歳以上」では9割に達します。特に「70歳以上」では「住み良い」という積極的な回答は4割と目立ちます。



<愛着感別>

愛着感が高まるにつれて、住み良さ感が高まります。特に、愛着感を「感じている」では、「住み良い」という積極的な評価が顕著に上昇し、5割を占めています。



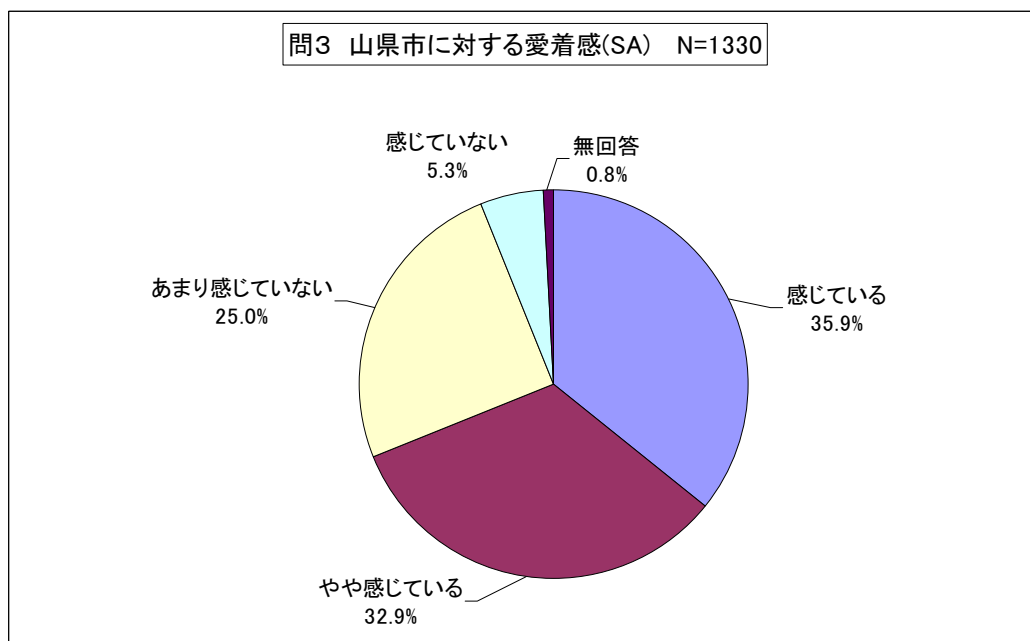
## 問3 山県市に対する愛着感

あなたは、山県市に対して「自分のまち」としての愛着を感じますか。次の中から1つ選んで、番号に○印をつけてください。

○市民の7割は、山県市に対して愛着感を感じています。

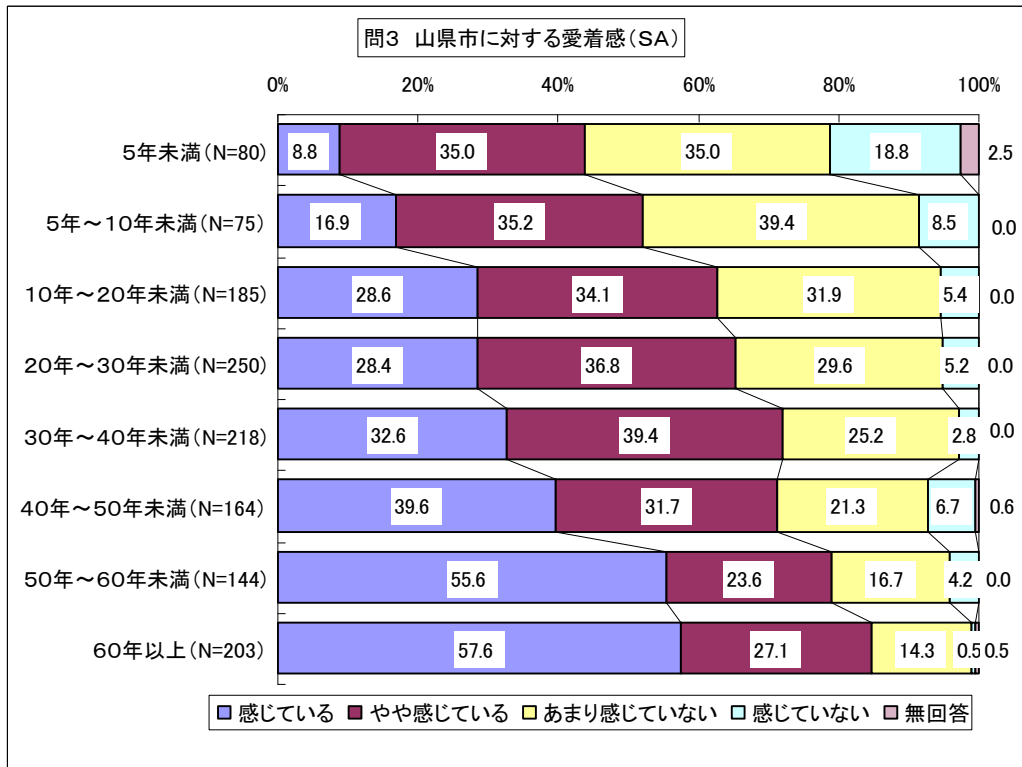
山県市に対する愛着感では、「感じている」と「やや感じている」がほぼ同数で上位を占め、市民の7割は“愛着を感じる”と回答しています。

一方、“愛着感を感じていない”（「あまり感じていない」と「感じていない」の合計）は3割を占めています。しかし、「感じていない」と強く否定する意見は少数です。



<居住年数別>

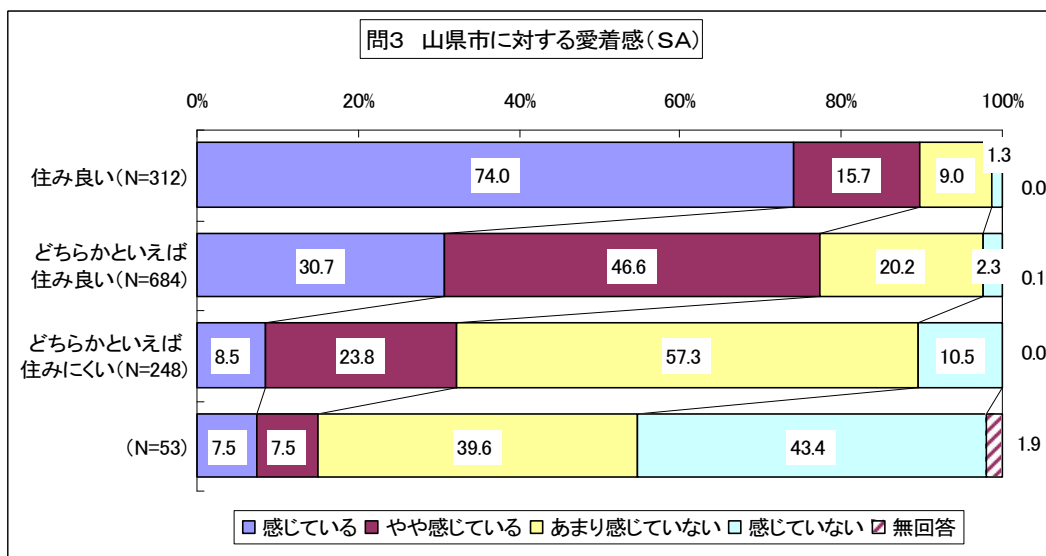
居住年数が長期化するにつれて、“愛着感を感じる”割合（「感じている」と「やや感じている」の合計）は上昇する傾向がみられます。なかでも、「感じている」は居住年数の長期化とともに顕著に高まり、「5年未満」では1割以下ですが、「60年以上」では6割に達します。



<住み良さ感別>

“住み良さ感”が高まるにつれて、愛着感は急速に高まります。特に、「住み良い」では、愛着感は一挙に高まり、4人に3人は「感じている」と回答しています。

なお、愛着感の割合は「住み良い」と「どちらかといえば住み良い」では差が大きいものの、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」ではあまり差はみられないのが特徴的です。



## 問3-① 愛着を感じない理由

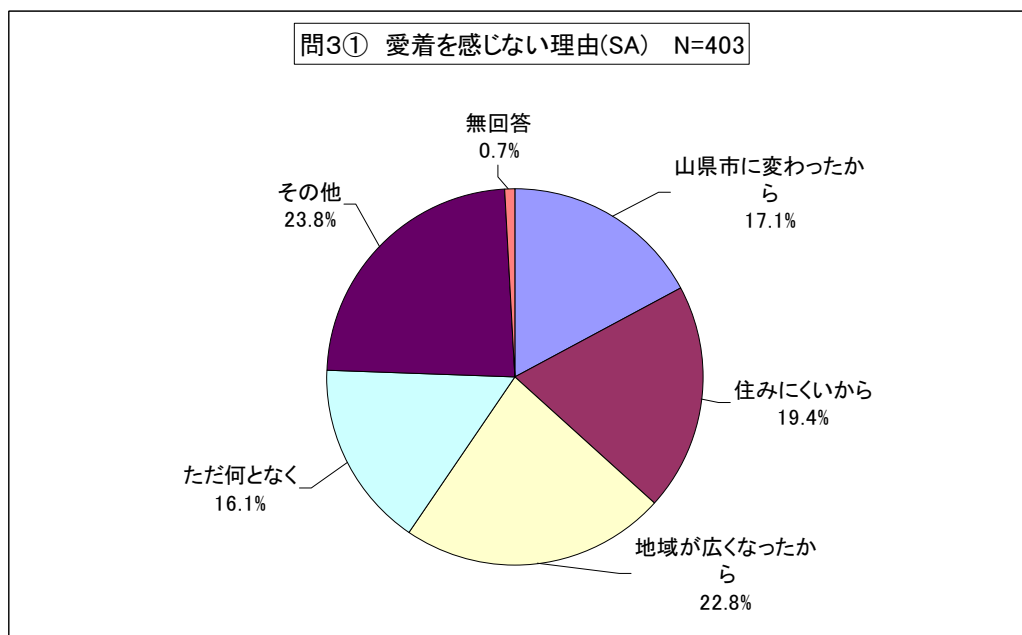
問3で「3」又は「4」と回答した方におうかがいします。愛着を感じない理由として、あなたのお考えに最も近いものを1つ選んで、番号に○印をつけてください。

## ○ 山県市に愛着を感じない理由は様々ですが、合併に起因する意見も4割みられます。

山県市に対して愛着を感じない理由は分かれており、特に回答が集中した項目はみられません。

「地域が広がったから」や「山県市という名称が変わったから」など、合併に起因する理由をあげる市民は全体の4割となっています。

なお、「その他」では、“居住年数が短い”ことなどがやや目立ちます。



## 〈その他〉

## ①居住年数

- 転居して居住年数が少ないため。(17)
- 県外で就職し、最近Uターンしたため。

## ②行財政

- 合併後活気がなく、地域格差がみられるようになり、不便である。(14)
- 汚職のイメージが残っている。(5)
- 税金等が高くなった。(3)
- 岐阜市と合併をしたかった。(2)
- 公共施設、議員数等の税金の無駄使いが多い。(2)
- 合併を住民主体で決めていない。
- 合併してもかわらない。
- 市の対応に不満がある。

## ③生活環境

- 道路、歩道、交通の便等が整備されておらず不便である。(5)
- 商業施設や店などが充実していない。(4)
- 買物に不便である。(4)
- 自治会の行事、役員等が大変(3)
- 工場排気汚染あり。(2)
- ゴミ袋が高い。収集日が少ない。

## ④地域性など

- 閉鎖性、保守的である。(6)
- 田舎すぎる。(3)
- 名前に対する意識はなく、住んでいる所が山県市という感覚。(2)
- 旧地名に愛着やなじみがある。(2)
- 中途半端。

## ⑤福祉・文化

- 図書館・文化等のいろいろな施設がない。(2)
- 視覚障害者の福祉が遅れている。

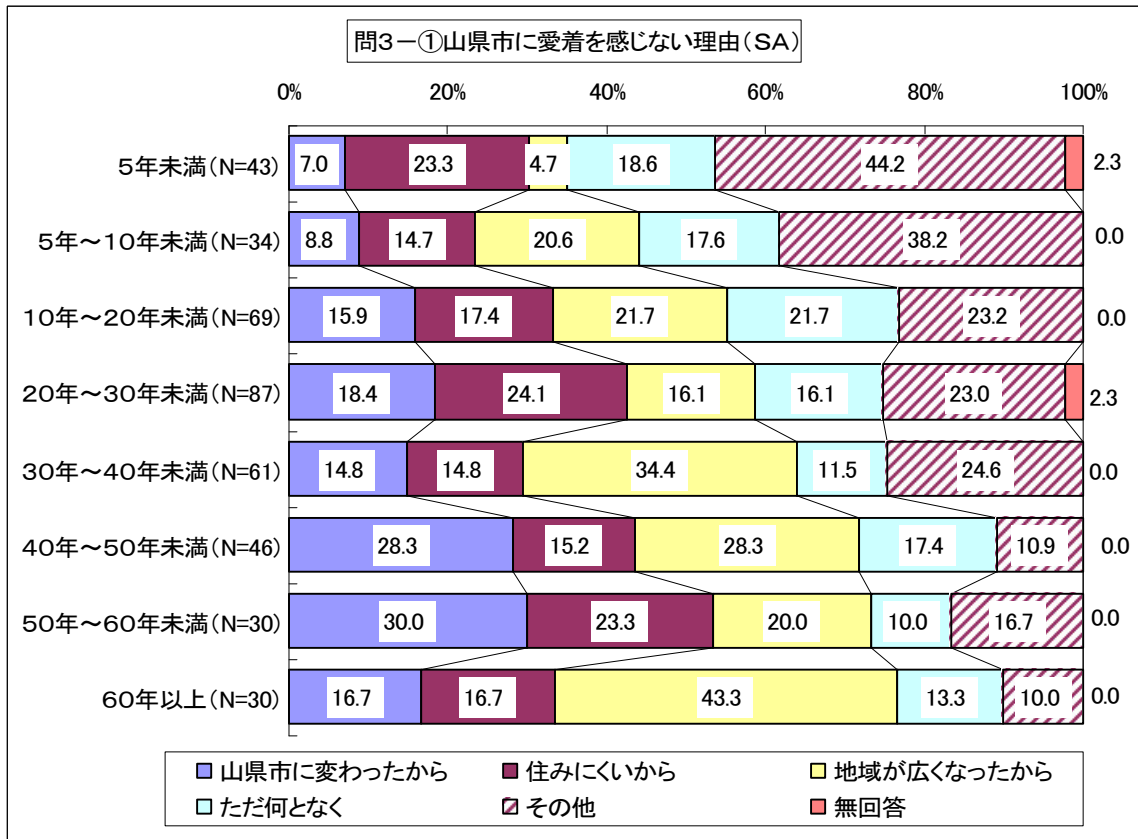
## ⑥その他

- 人と人との優しさ、思いやりのない。(4)
- 住むことのメリットやよさが感じられない。(3)
- 生活形態が地域に密着していない。(3)
- 思ったこと・考えたことがない。(2)
- 働く場が少ない。
- 自治会活動は内容が乏しい。
- 真の地元ではないから。
- 力でおしつけられたような生活環境。
- 「自分のまち」さえ住みよくなればという考えができないから。
- 生まれた土地だから。
- 新川の水をなくして欲しい。
- なんとなく余裕のないところ。
- 封建的で活力、活気がないまち。
- 今は車が有るが、乗れなくなった場合。

<居住年数別>

票数の関係で数値はやや変動していますが、居住年数が長くなるにつれて、「地域が広くなったから」や「山縣市という名称が変わったから」の割合が高まる傾向がみられます。

居住年数の長い市民ほど、合併によって地域との距離感を感じているようです。



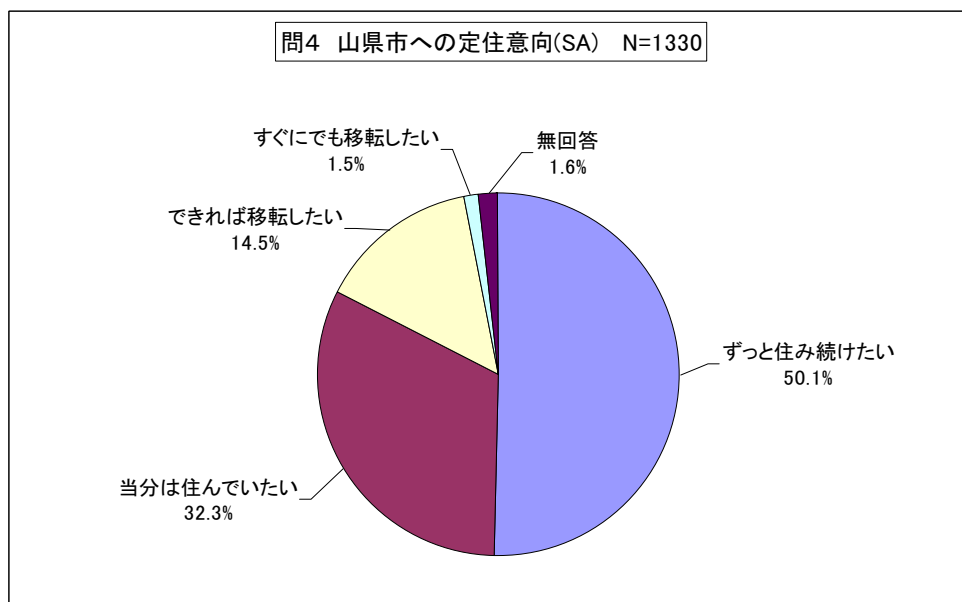
## 問4 山県市への定住意向

あなたは、山県市にこれからも住み続けたいと思いますか。次の中から1つ選んで、番号に○印をつけてください。

**○ 市民の8割は、山県市に“住み続けたい”と考えています。**

山県市への定住意向では、「ずっと住み続けたい」が5割と最も多く、次いで「当分は住んでいたい」と続きます。「ずっと住み続けたい」と「当分は住んでいたい」を合わせた定住意向は8割に達し、ほとんどの市民は山県市に“住み続けたい”と考えています。

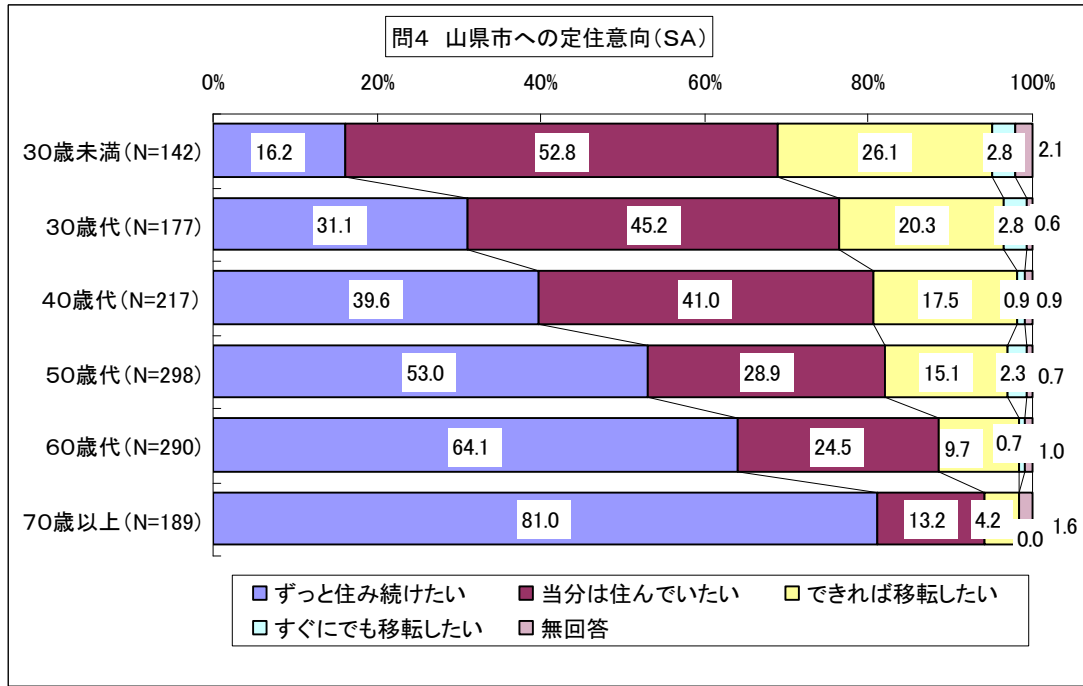
また、「すぐにでも転居したい」という強い転居意向を有する市民は、ほとんどみられません。





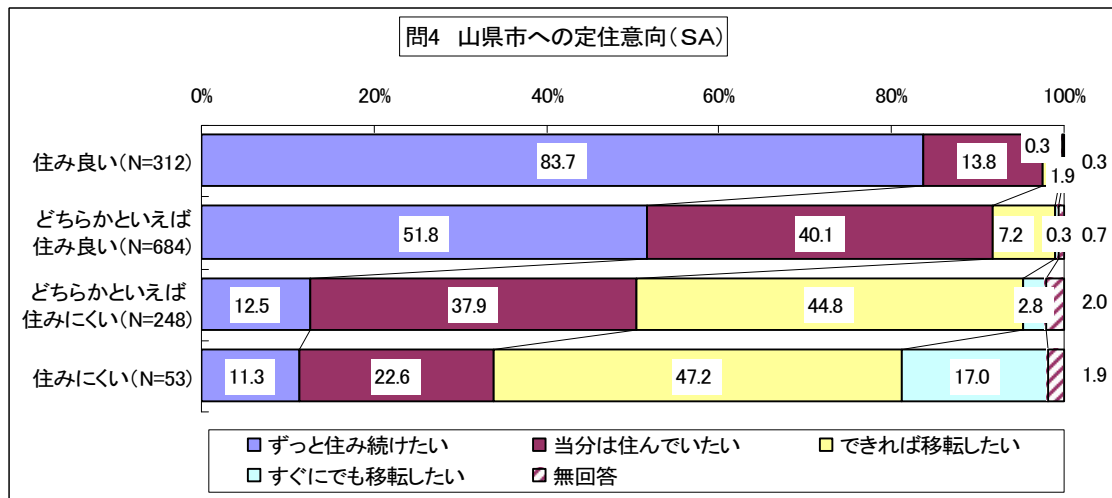
<年齢別>

年齢階層が高まるにつれて、定住意向（「ずっと住みたい」と「当分は住んでいたい」の合計）は上昇しています。特に、「ずっと住みたい」の割合は年齢階層とともに顕著に高まり、「70歳以上」では8割に達しています。



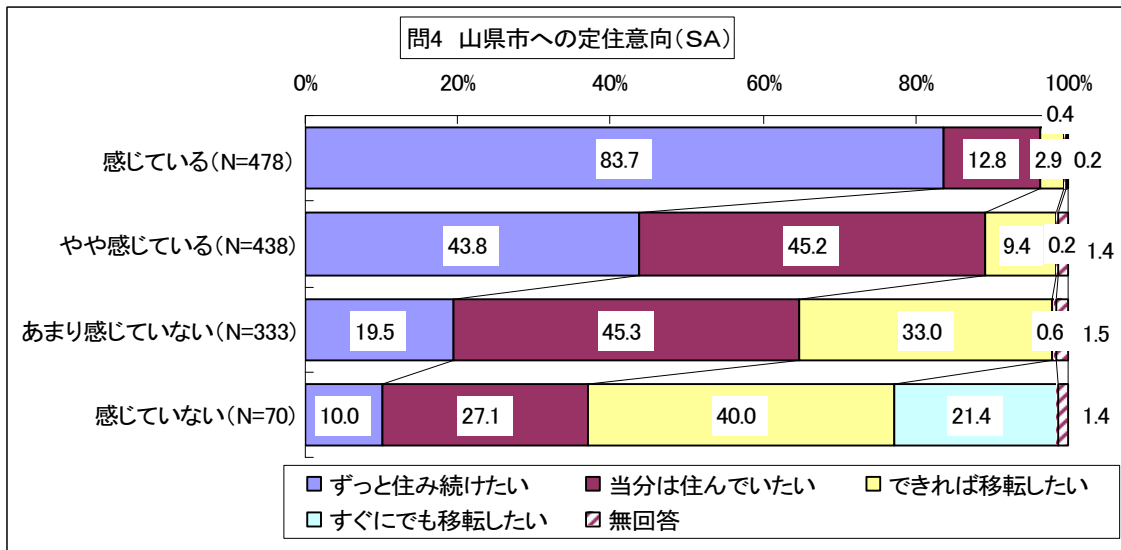
<住み良さ感別>

住み良さ感が高まるにつれて、定住意向（「ずっと住みたい」と「当分は住んでいたい」の合計）は顕著に上昇しています。特に、「住み良い」では「ずっと住みたい」の割合は8割を超え、「移転したい」はほとんどみられません。



<愛着感別>

愛着感が高まるにつれて、定住意向（「ずっと住みたい」と「当分は住んでいたい」の合計）は顕著に上昇しています。特に、「感じている」では「ずっと住みたい」の割合は8割を超え、「移転したい」はほとんどみられません。

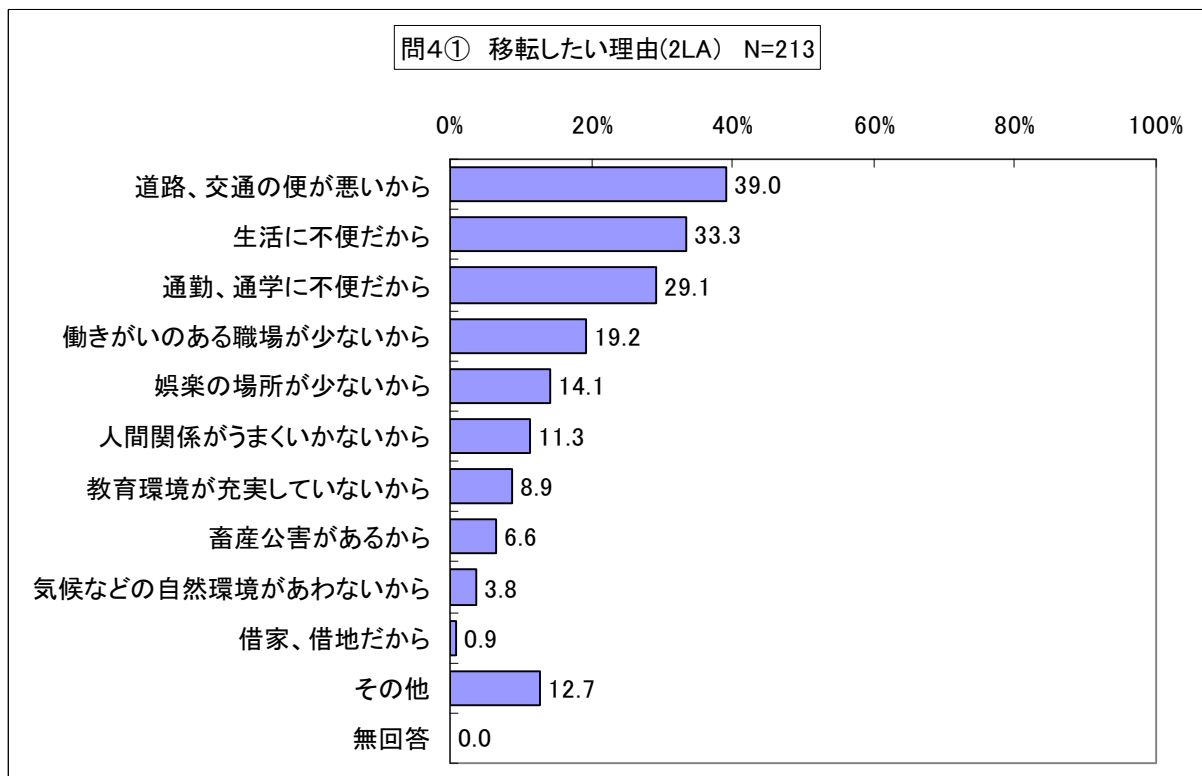


## 問4-① 転居理由

問4で「3」又は「4」と回答した方におうかがいします。あなたが移転したいと思う理由は何か。次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけてください。

## ○ 移転理由は、「道路、交通の便が悪いから」など“暮らしの利便性”です。

移転したい理由としては、「道路、交通の便が悪いから」や「生活に不便だから」、「通勤、通学に不便だから」が上位3位を占め、暮らしの利便性に関する項目が目立ちます。ただ、「気候などの自然環境があわないから」や「借家、借地だから」など、風土的な要因や住環境などを移転理由とする人はほとんどみられません。特に、本市の自然環境は、他の設問でもみられるように、市民に貴重な資源として認識されていると考えられます。

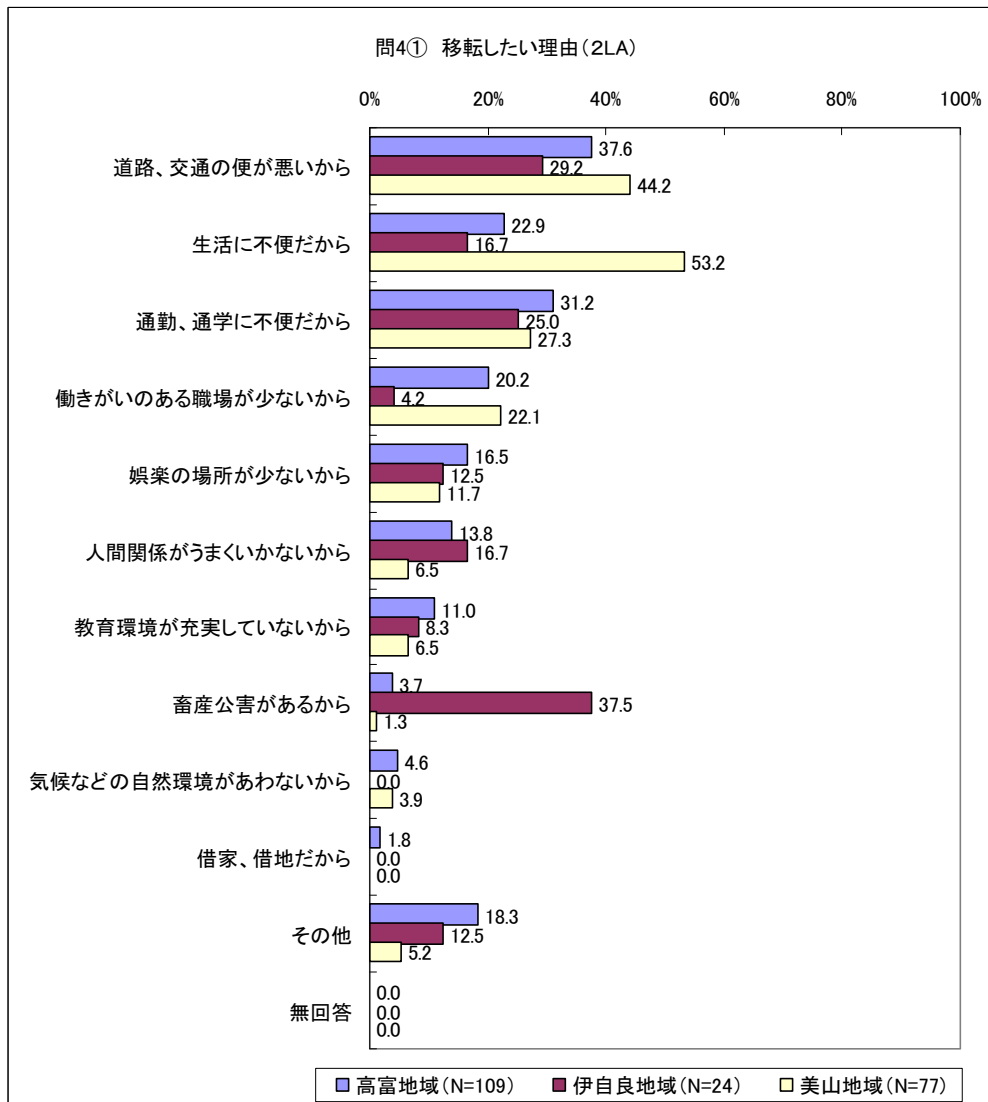


<地域別>

「道路、交通の便が悪いから」や「通勤、通学に不便だから」は、いずれの地域でも移転理由の上位を占めており、地域の共通課題と言えそうです。

一方、「伊自良地域」では「畜産公害（悪臭など）があるから」、「美山地域」では「生活に不便だから」が最も高く、地域特有の課題が反映した結果となっています。

票数の少ない地域があるため評価は難しいところですが、「伊自良地域」では「畜産公害（悪臭など）があるから」以外の項目は、他地域に比べてあまり目立ちません。

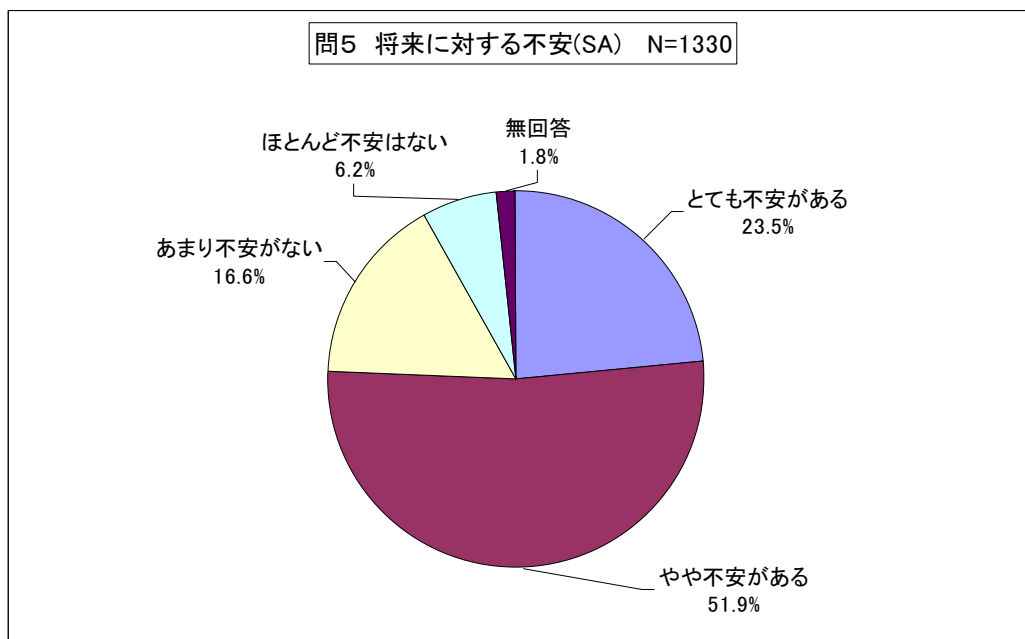


## 問5 将来の不安

あなたは、将来（概ね10年後）に対して不安を感じていますか。次の中から1つ選んで、番号に○印をつけてください。

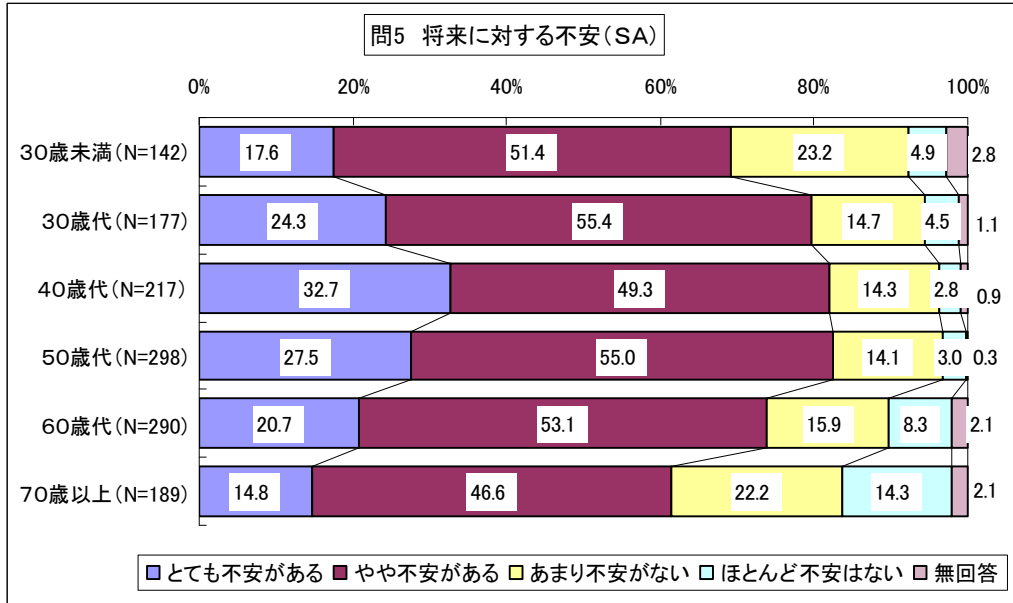
○ 市民の4人に3人は、“将来への不安”を感じています。

将来（概ね10年後）への不安では、「やや不安がある」が5割と最も多く、次いで「とても不安がある」、「あまり不安がない」の順となっています。「とても不安がある」と「やや不安がある」を合わせると、4人に3人は“将来への不安”を感じています。一方、「ほとんど不安がない」は1割以下と少数です。



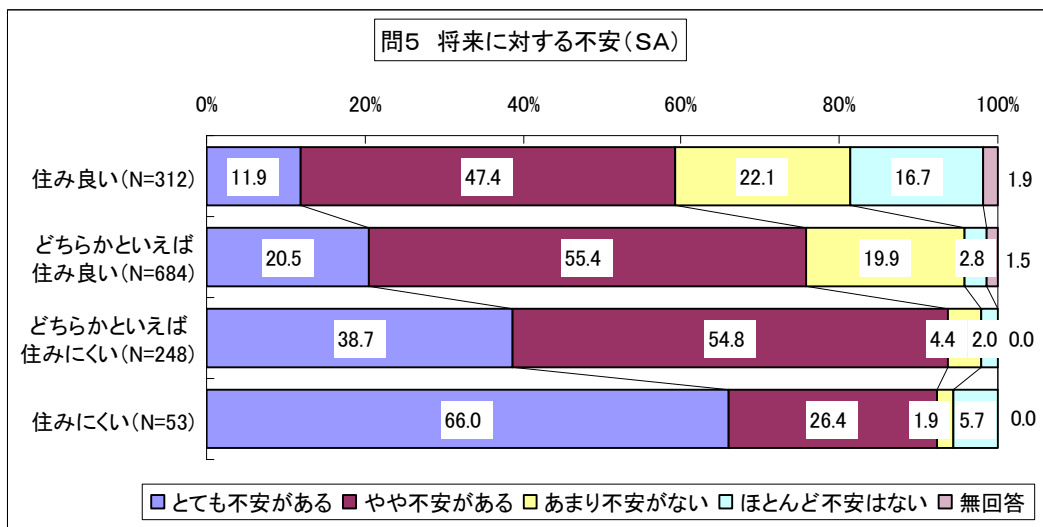
<年齢別>

「とても不安がある」と「やや不安がある」を合わせた“将来不安”の割合はいずれの年齢階層でも6割を超え、年齢を問わず、多くの人将来に不安を抱えていることがうかがえます。ただ、“将来不安”の割合は、働き盛りの“40～50歳”で最も高く、その後、年齢階層が高まるにつれて、わずかながら低下する傾向がみられます。



<住み良さ感別>

“住み良さ感”が低下するにつれて、“将来不安”は高まります。「住み良い」では“将来不安”は6割ですが、「住みにくい」では9割を超えています。特に、「とても不安がある」は「住み良い」では1割ですが、「住み良さ感」が低下するにつれて顕著に上昇し、「住みにくい」では6割に達します。“住み良さ感”が現状の充足感と密接に関連していることがうかがえます。



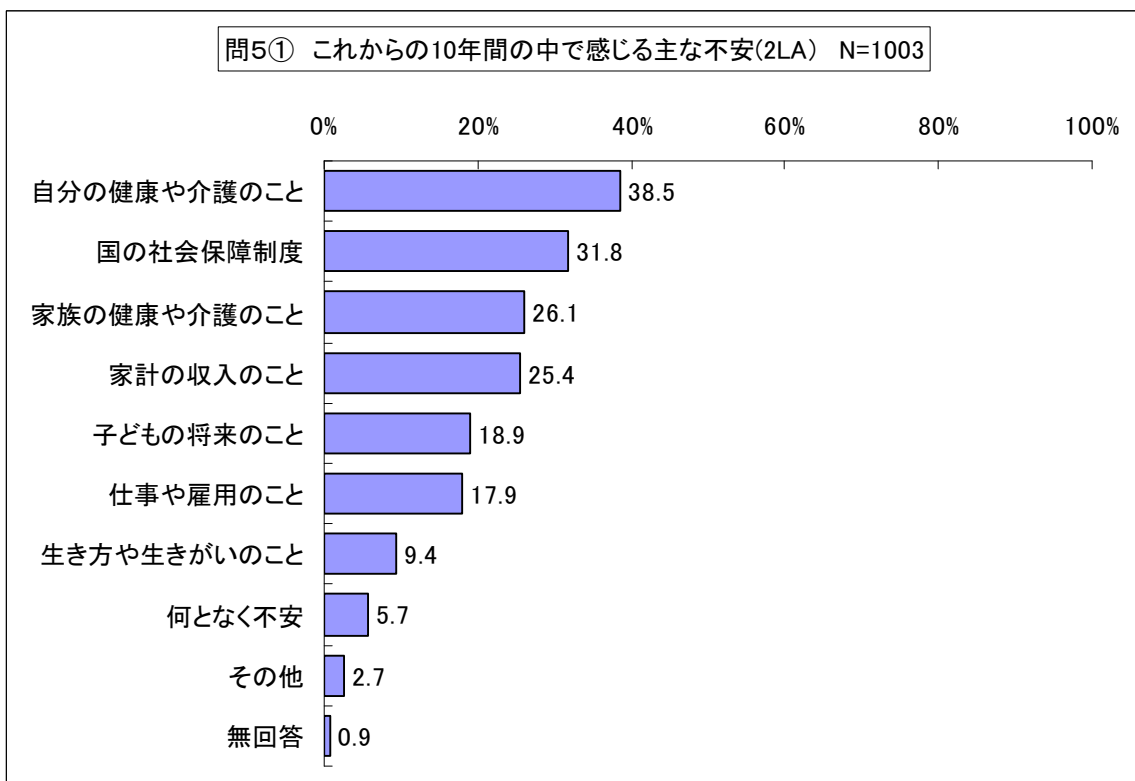
問5-① これからの10年間の中で感じる主な不安

問5で「1」又は「2」と回答した方におうかがいします。あなたがこれからの10年間の中で感じる主な不安は何ですか。次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけてください。

○ 主な将来の不安は、“健康や介護”、“社会保障制度”などです。

“将来不安”を感じると回答した人に、主な不安を聞いたところ、「自分の健康や介護のこと」が最も多く、次いで「国の社会保障制度」となっています。回答者の年齢構成を考慮すると、高齢期の健康維持や年金制度などへの不安がうかがえます。

就労や生きがいなど、社会参加にかかわる事項はあまり目立たないのが特徴的です。



<その他>

- 社会保障制度（年金など）が不安(5)
- ごみ問題（産業廃棄物、不燃ごみなど）(3)
- 住宅環境（老朽化など）(2)
- 自然災害（地震、山崩れ）(2)
- 子ども減少(2)
- 高速道路のインターができるため。(2)
- 過疎の地域になるので。
- 家を継いでくれるかどうか。
- 山県市の環境問題に対する対応。
- 環境悪化にともなう施設等の建設が始まろうとしているため。
- 自然環境の破壊
- 国の財政
- 道徳心の欠如
- 近くに飲食店がない
- 厚生年金制度の不安
- 家族形態（未婚、2人暮らし）
- 工場の騒音。
- 市役所体制。
- 議員数が多い。
- 下水道。

<年齢別>

年齢階層が高まるにつれて、主な不安は「自分の健康や介護のこと」に集中する傾向がみられます。特に、“60歳以上”の3人に2人は“健康や介護”についての不安を有しています。

一方、「30歳未満」では、「仕事（家業含む）や雇用のこと」への不安が最も高く、“30～40歳代”では、「家計の収入のこと」や「家族の健康や介護のこと」、「子どもの将来のこと」などに分かれており、世帯形成期や子育て世代の不安がみられます。一方、「50歳代」では、「自分の健康や介護のこと」と「国の社会保障制度」がみられ、老年期に向かうことへの不安がうかがえるなど、ライフステージ特有の不安や悩みがみられます。なお、年齢を問わず、「国の社会保障制度」への不安は2割以上を占めています。

